



### 今月の特集

1. 平成 27 年 4 月 1 日、埼玉労働局雇用保険電子申請事務センター開設
2. 【短時間労働者対策基本方針】を策定
3. 短時間労働者対策基本方針のポイント

### 1. 平成 27 年 4 月 1 日、埼玉労働局雇用保険電子申請事務センター開設

平成 27 年 4 月 1 日より、各ハローワークで行っている雇用保険電子申請手続きについて、申請受理から審査・決定までの事務処理を迅速化するため、「埼玉労働局雇用保険電子申請事務センター」が開設します。

審査等の電子申請業務に関するお問い合わせについては、下記をご覧ください。

※雇用保険電子申請はインターネットを用いて各種手続きを行うことです。

詳細はこちら→電子政府の総合窓口【e-Gov】のホームページ <http://www.e-gov.go.jp/>

ハローワークへ書類持参のうえ雇用保険手続きを行うこととは異なりますので、ご注意ください。

### 2. 【短時間労働者対策基本方針】を策定

～パートタイム労働者の均等・均衡待遇の確保や正社員へ転換するための取組を推進～

厚生労働省は、27 年度から平成 31 年度までの 5 年間に取り組むべき、短時間労働者（パートタイム労働者）の雇用管理の改善などの促進や職業能力の開発・向上などに関する施策の基本となる「短時間労働者対策基本方針」※を策定しました。

少子高齢化や労働力人口の減少が進む中、全員参加による社会を実現するためには、就労を希望する人がそれぞれのライフスタイルに応じた働き方を通じて、能力を発揮することができるよう、多様な働き方を実現するための環境整備を社会全体で進めることが重要です。このため、「短時間労働者対策基本方針」では、短時間労働者の均等・均衡待遇の確保や通常の労働者（正社員）への転換などの取組を一層推進することなどを掲げています。

厚生労働省は、この基本方針に沿って、今後の短時間労働者に関する施策に取り組んでいきます。

#### ※短時間労働者対策基本方針とは

短時間労働者の雇用管理の改善などに関する法律（パートタイム労働法）第 5 条の規定に基づき、短時間労働者の福祉の増進を図るため、短時間労働者の雇用管理の改善などの促進や、職業能力の開発・向上などに関する施策の基本となるべき方針を定めるものです。

### 3. 短時間労働者対策基本方針のポイント

#### 短時間労働者の現状

1. 短時間労働者数は増加傾向で、基幹的役割を担う人も増加。
2. 通常の労働者（正社員）と短時間労働者（パートタイム労働者）の待遇は異なる。
3. ワーク・ライフ・バランスを実現しやすい働き方である一方、正社員としての就職機会を得られず、やむを得ず選択する人も存在。

#### 短時間労働者をめぐる課題

1. 待遇が働き・貢献に見合っていない場合があるため、通常の労働者との均等・均衡待遇の一層の確保が必要。
2. 労働条件が不明確になりやすく、通常の労働者と待遇が異なる理由が分からない場合もあるため、短時間労働者の納得性の向上が必要。
3. 希望する人に通常の労働者への転換の機会が与えられること、希望に応じてキャリアアップが図られることが必要。

#### 施策の方向性・具体的施策

～均等・均衡待遇の確保や通常の労働者への転換などのための取組を一層推進～

1. 均等・均衡待遇の確保、納得性の向上
  - 「パート労働ポータルサイト」などによる法律や相談窓口設置義務の新規規定などの積極的な周知
  - 「短時間労働者の待遇の原則」に沿った雇用管理の改善促進、労使の取組・裁判例の動向などの情報収集
  - 的確な行政指導の実施による法の履行確保
  - 雇用管理改善などに積極的に取り組む事業主を社会的に評価するための取組の推進など

2. 短時間労働者の希望に応じた通常の労働者への転換・キャリアアップの推進

- 通常の労働者への転換を推進する措置義務の履行確保
- 短時間正社員など「多様な正社員」の普及など
- 3. 労働者に適用される基本的な法令の履行確保

### 【SATO コラム】

3 月、4 月は企業の入社・退職が最も多い時期となります。SATO 社会保険労務士法人では、雇用保険・社会保険の手続きをこれまで行政窓口

に直接提出していた書類を電子申請による手続きへと徐々に移行・拡大しております。

冒頭でも記述しましたが、労働局電子申請事務センターの開設も広がりつつあり、益々行政手続きのオンライン化が拡大していくと思われます。

最大のメリットは 24 時間インターネットを利用して申請・届出ができる事です。これにより、届出から受理までの時間が格段と早くなりますので弊社としては業務の効率が上が

り、事業主様や従業員様へのお手続きをより早く完了させる事ができます。

これからもより効率化を図り、お客様の満足度を上げていく次第であります。